

東京都の企業2社が共同でフィリピンの老朽化した 建物の補修技術を用いて、海外展開に挑む！

～東京都の株式会社繕、日本プロロング株式会社、JICAと委託契約を締結～

独立行政法人国際協力機構（JICA）は10月24日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 基礎調査（中小企業支援型）」の一環として株式会社繕（東京都足立区、葭葉恒謙代表取締役）及び日本プロロング株式会社（東京都江戸川区、富田豊代表取締役）が提案する「漏水を防ぐコンクリート補修材の販売に関する基礎調査」（フィリピン）にかかる業務委託契約を締結しました。

フィリピン国では、都市化や人口増加に伴う首都マニラを中心とした建設ラッシュの影響により、近年は、年間7～8%程度の成長が続いています。しかし、フィリピン都市部では、鉄筋コンクリートによる建造物が多く見られ、その多くが建設より20年以上が経過し、老朽化が進んでいます。それに加えて、年間を通じて降雨量が多いという気候の特性によって、コンクリートのひび割れによる漏水問題が発生しており、病院や学校等の公共施設をはじめとする建物内の設備機器等への被害が頻発しています。

株式会社繕及び日本プロロング株式会社の提案製品・技術である「エバープロロング」は、コンクリートの組織に深く浸透することによって、ひび割れ内部を閉塞し、水の侵入を防止する効果を有しています。本調査では、コンクリートの老朽化等に起因するインフラ施設への影響や建築の漏水被害の現状及び課題を把握し、開発課題解決の可能性及びODA事業の連携可能性の検討などを行います。調査を通じて、老朽化した施設の補修を行うことによって、現地の課題解決に資するビジネスモデルが検討され、両国の互助関係構築等につながることを期待されます。



エバープロロング施工の様子



エバープロロング工法を用いて補修した橋脚

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 民間連携事業部企業連携第一課 横田

TEL 03-5226-9283 e-mail: Yokota.Yusuke@jica.go.jp